

平成28年度 中小企業団体等との意見交換会について

日 時：平成28年8月30日（火） 14：00～16：00

場 所：北九州市 本庁舎 特別会議室A（5階）

出席者：アドバイザー1名（大学教授）、中小企業団体4名、中小・小規模企業3名（当日1名欠席）、金融機関、大学、労働団体各1名、FAIS、北九州市

1 次 第

- 開会あいさつ、出席者照会
- 会議の趣旨説明及び北九州市の取組み（事務局より説明）
- 中小企業振興にかかる取組及び課題について（各参加者等より発表）
 - ・議題1 生産性向上のための取組み（ITの活用など）
株式会社マネーフォワード 執行役員 MFクラウド本部長の講演
 - ・議題2 人材育成・人材確保（インターンシップ、キャリア教育を含む）
 - ・議題3 事業承継
- フリーディスカッション、アドバイザーの意見

2 参加者の発表内容及び主な意見

【議題1 生産性向上のための取組み】

- ・中小企業白書を見ても、中小企業が収益をあげるためにはITの導入、ITへの投資が急務であり、ITに投資すればするほど、業務が効率化されて収益が上がるという傾向が見られる。
- ・IT化の中でも「クラウド化」がどんどん進んでおり、この波は不可逆的に日本でも普及していくのではないかとされている。
- ・現在、会計ソフト、給与計算ソフト、経費精算、労務管理（シフト管理・勤怠管理など）、受発注システムなど、様々なクラウドサービスが提供されている。
- ・クラウドサービスのメリットは、①自動化によって作業応答率を大幅に改善②リアルタイムにデータ共有が可能③ネットに繋がれば端末問わず利用可能④バージョンアップも無料に対応 と4つある。
- ・クラウドサービスが便利なのは分かるが、個人情報流出やデータ消失の懸念などセキュリティ対策の面で信用できないというのが率直な感想。
- ・クラウドサービスについては、利用出来そうなところから少しずつ利用していったら、セキュリティ対策面での不安を払拭させていく必要があるのではないかと。
- ・クラウドサービス導入にあたっては、気軽に聞ける人が身近にいないとなかなか取り付きにくいのではないかと。
- ・クラウドサービスは、リアルタイムで有益な情報が得られることや、空いた時間で本来業務において差別化を図る時間に充てることができそうなので、導入を検討していきたい。

【議題2 人材育成・人材確保（インターンシップ、キャリア教育を含む）】

- ・市の人口減少抑制のため、18歳、22歳の年代を、いかに地元に残すかということが一番大切。そのために、インターンシップで中小企業をよく知っていただかなければならない。
- ・高校のインターンシップがなかなかないため、市の人材確保支援助成金を活用して、高校生のインターンシップ受け入れを始めて行った。
- ・北九州市立大学は、国から「COC+ 北九州・下関まなびとびあ」の認定を受け、様々な研究機関、教育機関、商工会議所などの産業界、市が一体となって、市内の大学生の地元定着率を上げる取組みを今後5年間にわたって進めていく。
- ・「まなびとJOBステーション」や「就活ワークカフェ」など、地域の学生と地元の企業との対話、交流を促進して行って、学生の地元企業に対する認知・理解を深めて、地元への定着率を上げていきたい。
- ・学生の心をキャッチするためには、会社のイメージキャッチが古いと考えており、そういう面での勉強をさせていただきながら頑張りたい。
- ・市の「ゆめみらいワーク」は、主に学生向けだが、それ以外についても集客に力を注いでいただきたい。
- ・卒業生のネットワークをうまく活用して、Iターン・Uターンにつなげていくべきではないか。

【議題3 事業承継】

- ・事業承継にあたっては、「株主の引き継ぎ」があるが、株を切り売りできないため、全部売るか、売らないかの選択肢しかない。業績の良い会社は納税資金の工面、悪い会社は借金と、経営者になろうという方は大変である。
- ・代替わりをした後が実は大変で、従業員が辞めていくケースが結構ある。これは、特に株価の高い会社が、納税猶予の制度（5年間で従業員を8割以上維持することが必要）を活用する時に大きなハードルとなっている。
- ・事業承継のマッチングはものすごく難しく、結婚と同じくらい大変だという気がする。
- ・大阪の商工会議所などは、非公開企業のM&A市場を創設して、実際にM&Aに結び付けている事例もある。
- ・岡山の商工会議所などは、民間企業と業務提携を結んで、民間企業に引き継げるものは引き継ぐという形で連携を行っている。
- ・ある程度年齢がいった段階で、もうどうしていいかわからない状態で相談を受けるのではなく、経営者がもっと若い（早い）段階で相談できるようにもっていくべきではないか。
- ・そのためにも、事業承継者がいない場合、誰に相談したらいいのかという情報提供をしっかりと行っていく必要があるのではないか。
- ・事業承継をされたばかりの方は、結構共通の悩みを抱えておられるので、悩み相談会みたいなものを金融機関が音頭を取って、そういう場をセッティングしてはどうか。

【事務局（まとめ）】

- ・今回の意見を参考に、中小企業・小規模企業者の振興を図るための施策を適宜実施してまいりたい。
- ・また、各団体においても、色々な取組みを進めていただきたい。また、他の機関と連携を希望される場合は、市がコーディネートするので相談いただきたい。
- ・後日、今日言い足りなかった意見等があれば、中小企業振興課まで連絡いただきたい。